

外国人対応 言語数拡大

磐田市 情報窓口 案内充実へ



対応言語数を拡大した磐田市の外国人情報
窓口＝市役所

磐田市はこのほど、窗口での対応言語数を市役所を訪れた外国人情報を案内する外国人情報を案内する外国人情報を拡大し、翻訳機と合わせ計11言語への対応を

始めた。昨年4月に改正入管難民法が施行されたことなどを受けた多文化共生推進事業の一環。

同窓口ではこれまで、ポルトガル語、タガログ語、英語に対応していたが、市内で東南アジア諸国出身者が急速に増加している現状を踏まえ、ベトナム語、タイ語、スペイン語の通訳スタッフを追加した。

地元自治会などが発

行する回覧文書などの翻訳言語数も同様に拡大し、庁舎内の各課に配置した翻訳機で中国語や韓国語などに補助的に対応する。

同市の外国人は2018年12月末時点でも約8300人。総人口約17万人のうち、およそ5%を占める。市によると

(磐田支局・駒木千尋)

よると、県内で人数は3位、比率は5位で上位に入る。

同市の担当者は「スタッフ常駐など窓口の充実ぶりで磐田市を選ぶ人もいると聞く。さらに活用しやすい環境を整備していく」と話した。